



小郡市立小郡中学校 令和5年12月8日

小郡中学校だより 第196号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ~夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成~

### 〈12/4~12/10は「人権週間」〉 『人権』を尊重し合うことができますか

世界の国々で数多くの人びとに知られている世界人権宣言は、1948年12月10日に第3回国際連合総会の場で採択されました。その後、1950年第5回国連総会で毎年12月10日を「人権デー」と定め、人権思想の普及・啓発のための行事などを実施するよう呼びかけています。日本もこれを受け、毎年12月4日~10日を「人権週間」として、全国的に人権意識の高揚を図るための啓発活動が展開されています。小郡市でも毎年、人権週間記念講演会が開催されています。今年も12月3日に小郡市文化会館で安田菜津紀さん(TBSテレビ「サンデーモーニング」にコメンテーターとして出演中)を講師に迎えての講演会が行われました。また、その開会行事の中では、本校2年の さんが「人によってちがう普通」と題して作文を朗読し、自分の体験を通して至った思いを堂々と伝えてくれました。



世界人権宣言は第二次世界大戦がもたらした悲劇、苦悩、破壊を二度と繰り返さないという深い反省の中から生みだされたもので、『二度と戦争を起こしてはいけない』『差別を撤廃し、人権を確立することが恒久平和に通じる』という誓いが込められており、人類史上初めて全世界すべての人びとの人権を守ることを公的に明らかにしたものです。

宣言文は前文および三十条から構成されていますが、前文では「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」として宣言されており、第一条で、『すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である』と謳われています。

『人権』とは、簡単に言えば「誰もが生まれながらにもつ、人間らしく、幸せに生きる権利」のことで、自分の学校・家庭・地域などで、お互いに「人権」を尊重し合うことができます。この機会に見つめ直したいものです。

### 部活動での活躍、入賞の紹介

11月18日(土)に筑後地区中学校新人卓球大会、11月19日(日)には福岡県中学校新人体操競技大会が開催されました。〈結果は右表〉選手のみなさんの集中力と不屈の精神力に心から敬意を表します。よい経験になったと思いますし、必ずや来年の夏の大会では、個人やチームの完成度を高め、さらに躍動する姿を見せてくれるものと信じています。また、3年の さんは11月11日(土)に開催された北筑後中学生英語スピーチコンテストで見事、最優秀賞を受賞、12月2日(土)に行われた福岡県中学生英語スピーチコンテストでも優秀賞を受賞しました。文化発表会でも披露してくれましたが、一段と磨きがかかり表現力・説得力のある発表は圧巻でした。入賞、おめでとう!



筑後地区中学校新人卓球大会結果
令和5年11月18日(土)
筑後広域公園体育館
卓球(男子) 惜敗
福岡県中学校新人体操競技大会結果
令和5年11月19日(日)
福岡県立スポーツ科学情報センター
〈2年の部 10位〉
〈2年の部 12位〉



## 〈おごおりっ子からのメッセージ〉…堂々とした主張でした

11月5日(日)に小郡市文化会館大ホールで「おごおりっ子からのメッセージ」が開催され、市内の小・中・高校生が思いや願いを主張しました。本校からは、3年の **さんが学校の代表として、「母の姿から考えたこと」と題し、祖父の死などつらい場面での母親の姿から「家族からたくさんの愛情をもらっていること、家族の存在の大切さ」を切々と語ってくれました。日頃希薄になりがちな家族愛の大切さを考えさせられるもので、堂々とした主張に満場の拍手が送られました。**



主張する さん

## 花いっぱい運動(花苗植会)、PTA美化作業 ありがとうございます!

小郡校区協働のまちづくり協議会の青少年育成部会の取り組みとして毎年花苗植会が実施されています。今年も11月24日(金)に生徒会環境委員のみなさんと小郡校区青少年育成部会員さんで花苗を植えていただきました。花苗を植え育てることによって、快適な生活空間がくれ、生徒のみなさんの気持ちも豊かになることでしょう。



花苗植会の様子

また、11月25日(土)のPTA美化作業に参加していただいたみなさま、本当にありがとうございます。おかげさまで小郡中学校の敷地内がきれいに整備されました。生徒のみなさんには、整備された環境のもとで、生き生きと活動し、さらに大きく成長してほしいと思っています。ご協力いただいた地域・保護者、生徒のみなさんに感謝しています。



PTA美化作業の様子

## 〈保護者のみなさまへ〉「教育条件整備に関する署名」ありがとうございます

署名活動に関するお世話をしていただいたPTA役員・地区委員さん、各地区で署名に回っていただいた保護者のみなさま、お忙しい中活動いただきまして誠にありがとうございました。また、趣旨にご賛同いただき署名していただいた方々にも厚くお礼を申し上げます。おかげさまで、小郡中校区では27の団体署名、6,976筆の個人署名をいただきました。

11月13日(月)に市人権啓発センターにおいて、小郡中校区からの要望を校区人権のまちづくり推進連絡会の会長である井手区長と中学校PTA北川会長から訴えていただきました。市教育委員会の秋永教育長からも、①児童生徒支援加配及び指導方法工夫改善 教員の継続配置・新規配置、教職員定数等の改善の要求 ②高校奨学金の充実(給付型奨学金制度の創設) ③学び場支援事業の子どもを支援する体制づくりの充実 ④ICT教育推進に関わる支援体制の充実 ⑤「35人学級化」と定数欠を生まない教職員の配置 ⑥養護教諭配置基準の見直しと状況に応じた複数配置 ⑦特別支援教育及び日本語指導支援に関わる教職員の配置 等の要望を国・県に上げていく旨の回答をいただきました。12月28日(木)には、小郡中校区より井手区長と小学校PTA藤江会長にこの署名をもって県教育委員会へ陳情に行っていただきます。たくさんの方々が動いてくださるおかげで、すべての子どもたちの教育条件整備が少しずつ進んでいることに感謝いたします。



小郡市立小郡中学校 令和5年12月22日

小郡中学校だより 第197号

校長 船津 聡 哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

## 2学期が終わります …〈奪う〉のではなく、〈与える〉人でありたい…

【2学期の終業式で、次のようなお話をしました】

いよいよ2学期も今日で終わります。同時に2023年(令和5年)という1年ももうすぐ終わろうとしています。みなさんひとりひとりの2学期の、そして今年1年の評価はいかがでしたでしょうか？ぜひ、時間をとって自分自身を評価してもらいたいと思っています。



2学期は2大行事がありました。体育大会は短い練習時間でしたが、各ブロックとも団結を深めて燃えることができました。自分たちで創りあげることができたという達成感とやればできるという自信を感じたことだと思います。また、文化発表会では各学級いろいろな課題を克服しながら、自分たちの合唱を創りあげることができ、聴く人に感動を与えました。学級の団結の高まりを感じることはできたのではないのでしょうか。

振り返れば、これらの行事を通して、あるいは日々の学校生活のひとつひとつの地道な取組によって、人間的にも着実に成長してくれていると感じています。ただ、このようなみなさんのがんばり、団結力が発揮された一方で、課題もはっきり見えてきたのではないのでしょうか。自分の課題、集団としての課題を明確にし、その課題解決のために行動してもらいたいと思っています。

生徒のみなさんには、自分の周りのいろいろな人たちの思いやりや願いの中に自分が生かされているということに思いが至る人になってほしいと思います。そして、〈奪う〉のではなく、〈与える〉人であってほしいのです。特に、國分利治さん(株式会社アースホールディングス代表取締役、創業者)の言葉は、自分はどうだろうかと振り返らせてくれます。仏教でも『和顔施(わけんせ)』といって明るくにこやかな顔でほほえみを人に与えることは誰にでもできる施しであると言われていています。確かに楽しそうに笑っている人の顔を見ていると、自分も楽しくなって笑顔がこぼれることってありますよね。笑顔は雰囲気を和ませ、気持ちをやさしく明るくしてくれるものです。「笑顔、ほほえみ」はもらった相手にとっては、限りなく幸せで豊かな気持ちにさせてくれる非常に価値のあるものです。相田みつをさんの詩にも『和顔施』に関連するものがあります。生きていれば嫌なことたくさんありますが、まずは普段から和やか

〈國分利治〉

人を待たせる

これは人の「時間」を奪っています

愚痴や悪口ばかり話してる

これは人の「笑顔」を奪っています

きつい言い方や注文ばかりする

これは人の「自信」を奪っています

自分で自分の機嫌が取れず、他人に取らす

これは人の「エネルギー」を奪っています

気分にもうなくいつも笑顔

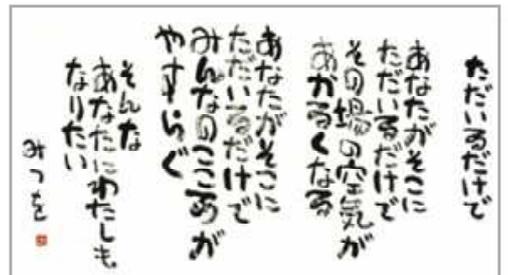
これは人に「ゆとり」を与えます

自分の話ばかりでなく、人の話もよく聞く

これは人に「安心感」を与えます

相手の変化やいいところを素直に褒める

これは人に「自信」を与えます



生きていれば嫌なことたくさんありますが、まずは普段から和やか

な笑顔を絶やすことのないように心がけて、自分の周りにいる人たちに幸せを贈りたいものです。そして、この小郡中でひとりでも多くの人がこう思えたら「笑顔、ほほえみの学校…小郡中」が創られると思います。そんな学校を創ってほしいのです。

充実した冬休みに、そして、来年が小郡中生徒のみなさんにとってすばらしい年になることを祈ります。

## 小郡特別支援学校との交流を行いました

12月1日(金)に小郡特別支援学校 中等部と交流を行いました。本年度は本校32名の生徒が小郡特別支援学校を訪問し、交流しました。事前の準備期間は約2週間、昼休みには出し物の練習や中等部の生徒に渡すメダルづくり等を行い、11月16日(木)は小郡特別支援学校から2名の先生に来ていただき、交流に向けての事前学習会も行いました。当日は緊張した様子が見られましたが、時間とともに笑顔あふれる交流会となりました。参加した生徒の感想には、「話しかけてくれて嬉しかったし、緊張も解けました。コミュニケーションをとることの大事さを学びました」「自分にとっての普通はみんなにとって普通とは限らないはこと、だからこそみんなが過ごしやすいようになるように考えなければならないと思える交流会でした」「お互いの出し物を見せ合ったりしてとても楽しかったです。仲良くなれていい時間でした」等がありました。私たちは他者とのコミュニケーションを避けて生きていくことはできません。コミュニケーションの必要性はもちろん、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さなど、生きていく上で重要なこと学んだ交流会となりました。



交流会の様子

## 親からの挑戦！ 笑顔あふれる楽しい時間となりました

12月16日(土)にPTA父親委員会主催の「親からの挑戦」ソフトバレー大会が行われました。24チームの参加があり、笑顔あふれる楽しい時間となりました。

この「親からの挑戦」は、小郡中学校の伝統行事になっており、すばらしい取組だと思っています。準備等でお世話をおかけしましたPTA父親委員やPTA役員のみなさまに感謝しています。

「親からの挑戦」  
〈優勝〉ひなた保護団体  
(2年生徒チーム)



## 冬休みを迎えるにあたって〈保護者のみなさまへのお願い〉

12月6日(水)～12日(火)の保護者面談ではお忙しい中に来校いただき、ありがとうございました。今後、ご心配な点等がありましたら、遠慮なく担任に伝えていただければと思っております。面談の中ではSNS(ラインやインスタ等)やオンラインゲームでのトラブル、そしてゲーム・ネット依存の話題が多かったようです。家庭での使用につきましては、保護者が子どものスマホ、SNSを含めて管理する、コントロールすることが必要です。また、学校貸与の一人一台タブレットには学習教材も入っていますので大いに活用してもらって構いませんが、勉強以外では絶対に使用しないように約束しております。(違法なコンテンツ等をクリックするとはブロックされ、記録が残るように管理されています)スマホ等の使用にしましては、子どもたちの見守りをよろしくお願いいたします。

12月28日(木)～1月3日(水)は学校閉庁日となっております、教職員は勤務していません。お子さまのインフルエンザ等の感染報告は中学校携帯<090-6568-6174>へ、その他緊急な連絡は小郡市教育委員会学校教育課 <72-2111> にお問い合わせいたします。